

世界遺産登録への道

Vol.21

特別展「平泉くみちのく浄土く仙台展」・バスツアー参加者の感想紹介

今回は、11月22日に実施した特別展「平泉くみちのく浄土く仙台展」バスツアー参加者(65人)から寄せていただいた感想や、世界遺産登録活動へのご意見を紹介します。

●特別展と鑑賞した感想

▽まとまった展示を見ることができて良かった。仏教文化が各地に展開していることがよく分かった。県内でも特別展を実施できないものだろうか(水沢区・60代男性)

▽江刺区にある藤里智福愛宕神社所蔵の毘沙門天立像ほか2体に好感を持った(江刺区・

70代男性)

▽地元でもなかなか見ることができない県内外の仏像や関係資料を見ることができて、とても有意義だった(衣川区・70代男性)

▽あらためて、平泉・藤原清衡の偉大さに感銘した。重々、先送り(登録延期)が残念でならない(胆沢区・60代女性)

●世界遺産登録を目指す市の取り組みについて意見・要望

▽今回も中高年の参加者が多かった。若・青年層の人たちも参加できるような企画を望む。(登録に向けては)市民全体で盛り上げていかなければならない。若い人たちの考えと力を求めている(水沢区・70代男性)

▽具体的に目に触れる建物などが少なく、浄土思想といっても広く皆が理解できるか疑問に思う(水沢区・70代男性)

▽観光目的の宣伝が散見される



全275ページに及ぶ今回の特別展の図録。市内各図書館で閲覧できます。ぜひご覧ください

が、やはり文化財保護に力点を置いて取り組んでほしい(江刺区・70代男性)

▽他市町村の人は(世界遺産登録活動を)知らない人が多いと聞く。県全体として取り組まないと、また登録延期になるのではないか(前沢区・60代女性)

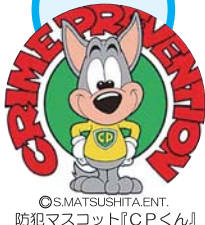
このほか、たくさんの感想やご意見をいただきました。今後の市の取り組みの参考にさせていただきます。

■問い合わせ 世界遺産登録推進室(前沢総合支所内線312、313)

関のチェックが強まり、小包・エクスパックでの送金も増えてきています。

「自分には関係ない」と思っている人が一番危険です。電話やハガキのみでお金を請求されたらまず落ち着き、必ず誰かに相談してから判断しましょう。

地域安全情報



振り込め詐欺被害が止まらない

10月の本コーナーで手口や注意点をお知らせした振り込め詐欺ですが、その後も被害が止まりません。県内では10月末現在で137件、被害額は1億2千万円を超えました。水沢署管内は12件、約1000万円、江刺署管内は3件、約280万円の被害届がありました。未届けのものもあり、実際の被害額はもっと多くなっています。

■普段から頭の中で備えを

県内の被害状況を見ると、オレオレ詐欺は「会社でのトラブル

ル」でだますケース、架空請求詐欺は相変わらずインターネットや携帯電話の有料サイト利用料請求が一番多くなっています。融資保証金詐欺は、ダイレクトメールなどのうその広告で、保証料や登録料の名目で送金させています。還付金詐欺は、9割が医療費、1割が年金・保険金の還付名目でだましています。被害の半数以上はATM(現金自動預払機)からの送金となっていますが、最近では金融機

県内の振り込め詐欺被害の状況

詐欺の手口	認知件数		被害金額(万円)	
	19年	20年	19年	20年
オレオレ詐欺	13	23	2,651	4,157
融資保証金詐欺	57	67	3,766	4,866
架空請求詐欺	12	29	1,215	1,724
還付金詐欺	0	18	0	1,579
合計	82	137	7,632	12,326

認知件数＝警察に被害届が出された件数

お元シピ

簡単朝食メニュー⑨

ごもくまめ



材料(5・6人分)

大豆……………1/2カップ
レンコン(水煮可)・ニンジン・ゴボウ・鶏もも肉……………各100g
シイタケ……………50g
油・三温糖……………各大さじ1
しょうゆ……………大さじ3
みりん……………大さじ2
水……………200cc

作り方

- ①大豆は一晩水につけて戻し、硬めにゆでておく
- ②ニンジン、シイタケは1センチ角に切る。レンコン、ゴボウも同様に切り水にさらしておく。鶏肉は野菜類に合わせ小さめに切る
- ③油を熱してから鶏肉をいため、さらに野菜類・ゆでておいた大豆を入れて全体に油が回る程度にさっといためる
- ④水と調味料を加え、味がしみて汁気がなくなるように時々かき混ぜながら煮る

わたしたちが作りました



前沢学校給食センター

作り置きできるおかずとして、朝食や弁当にもお勧めです。市内でもたくさん生産される大豆を、食卓にどんどん取り入れましょう。

「行政が合併推進に力を入れているのが分かった。合併効果があると住民が思うのであれば応援したい。そういう意味で、こういうシンポジウムは大切と思う。また設けてほしい」。会場の若い男性が



る、胆江六市町村合併期成同盟会の阿部会長は「執行部議会が促進することが大事。若い人が今まで以上に盛り上げてほしい」と話しました。私は、金ヶ崎町と平泉町の自主的な判断を尊重しつつ、来年度末の合併特例法期限を重視はするが、それにこだわらず着実に推進したい旨述べたところです。文化講演会の部に移ると、奥州大使でもある落語家の三遊亭楽麻呂さんが、「ふるさと応援落語

真つ先に手を上げて発言しました。11月22日に胆江地区勤労者教育文化センターで開かれた市町村合併推進シンポジウムでの1コマです。総務省の下仲さんは「政府も合併を積極的に進めてい

ーがんばれ!奥州」と題して、機知に富んだ、軽妙な語り口で会場を沸かせました。関係市町の住民の皆さんの理解と協力の下、市町村合併の推進に取り組んでいきたいと思ひます。

白鳥館遺跡 藤原時代の建物跡

世界遺産登録候補地の1つ、前沢区の白鳥館遺跡から12世紀のものとみられる建物跡が出土しました。市が9月から行っている発掘調査によるもので、同遺跡が奥州藤原氏の時代にも利用されていることが裏付けられました。今後の調査結果が期待されます。



出土した12世紀のものとみられる建物跡(白線の円が柱の跡)

市は9月から白鳥館遺跡の発掘調査を進めています。本年度は、遺跡の中心部と遺跡の南西部の水田地帯を調査しています。水田地帯については、これまでの調査で奥州藤原氏時代の土器片が出土していたことから、その時代の遺跡が埋まっていることが予想されています。

以上、南北4メートルの東西に長い建物跡で、南側には庇(ひさし)が付いています。建物跡の柱の穴や溝から、かわらけ(酒を飲む素焼きの器)や、東海地方で作られた陶器片などが出土したことから、12世紀の遺構と確認されました。白鳥館遺跡中心部からは、これまでも12世紀の中国産陶磁器などが出土していましたが、今回の調査によって、12世紀の奥州藤原氏の時代にも利用されていたことが裏付けられました。

■問い合わせ 世界遺産登録推進室